

展示室1 銅版画でめぐるイギリスの風景

18～19世紀のイギリスでは、風景画が大きな発展を見せました。ターナー(1775-1851)やコンスタブル(1776-1837)をはじめとする画家たちは、四季折々の自然に恵まれた風土を観察し、それぞれの価値観のもとに数多くの風景画を描き出しました。

国内で風景への関心が高まるなか、彼らの風景画を原画として、多くの版画集が出版されました。それらは油彩画や水彩画の単なる複製にはとどまらず、卓越した技術をもつ彫版師と画家の緊密な連携作業により、高い芸術性を保持した極めて良質な銅版画となったのです。

驚くほど繊細な線の集積、深みあるインクの明暗による美しい階調、モノクロームの豊かな空間に広がるイギリスの風景をご堪能ください。

| 作者名                    | 作品名                   | 制作年     | 技法・材質                 |
|------------------------|-----------------------|---------|-----------------------|
| ポール・サンドビー              | 聖アウグスチヌス修道院の大門、カンタベリー | 1782    | アクアチント・紙              |
| ポール・サンドビー              | モンマス州チェブストウ城          | 1775    | アクアチント、エッチング・紙        |
| ポール・サンドビー              | 西方から望むカーディフ城          | 1777    | アクアチント、エッチング・紙        |
| ポール・サンドビー              | チェブストウ城入口             | 1777    | アクアチント、エッチング・紙        |
| トマス・ガーティン              | エア川沿いのカークストール修道院      | 1824    | メゾチント・紙               |
| トマス・ガーティン              | ウォーフ川沿いのボルトン修道院       | 1825    | メゾチント・紙               |
| トマス・ガーティン              | ユア川とスケル川沿いのリップトン大聖堂   | 1825    | メゾチント・紙               |
| ジョン・コンスタブル             | デダムの谷                 | 1802    | 油彩・紙、キャンバス            |
| ジョン・コンスタブル             | 水浴びをする人たち、ハムステッド      | 1845 以前 | メゾチント・紙               |
| ジョン・コンスタブル             | ストゥール川の水門             | 1830-2  | メゾチント・紙               |
| ジョン・コンスタブル             | 春                     | 1830-2  | メゾチント・紙               |
| ジョン・コンスタブル             | 夏の朝                   | 1830-2  | メゾチント・紙               |
| ジョン・コンスタブル             | 秋の夕暮れ                 | 1830-2  | メゾチント・紙               |
| ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー   | コニストンの荒地              | 1797 頃  | 水彩、鉛筆・紙               |
| ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー   | 橋と牛                   |         | エッチング、メゾチント・紙         |
| ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー   | ベン・アーサー               | 1819    | エッチング、メゾチント・紙         |
| ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー   | ハンバー川の河口              | 1826    | メゾチント・紙               |
| ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー   | ストーンヘンジ               | 1829    | エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙 |
| ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー   | カンバーランド州のコールダー・ブリッジ   | 1810    | 油彩・キャンバス              |
| ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー   | ティーズ川の流れ、ヨークシャー       |         | ライン・エングレーヴィング・紙       |
| ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー   | ランプリス湖、北ウェールズ         | 1834    | エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙 |
| サー・ジョシュア・レイノルズ         | エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像    | 1777    | 油彩・キャンバス              |
| サー・エドワード・コラー・バーン=ジョーンズ | フローラ                  | 1868-84 | 油彩・キャンバス              |
| ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス     | フローラ                  |         | 油彩・キャンバス              |

展示室2 日本美術院—洋画部門の作家たち

日本美術院は1898(明治31)年、岡倉天心によって創設されました。明治の終わり頃には、経営難により実体を失っていましたが、1914(大正3)年に横山大観らによって再興されます。この頃、大観は洋画家の小杉未醒と出会い、「絵画自由研究所」設立を構想していました。再興時の美術院三則には、「邦画と洋画とを従来の区別の如く分画せず」とあり、洋画部門が新たに加わりました。しかし、1920(大正9)年の再興第7回院展会期中に未醒を含む洋画部門の同人6名が連袂脱退することとなります。わずか7年の間に未醒のほか、小出楯重や木村荘八など名だたる洋画家たちが再興院展で作品を発表しました。

ここでは、再興院展洋画部門に出品した作家を中心に、院展ゆかりの作家たちをご紹介します。

| 作者名    | 作品名     | 制作年                 | 技法・材質        |         |
|--------|---------|---------------------|--------------|---------|
| 小杉 未醒  | 日光東照宮図  |                     | 水彩・紙         |         |
| 倉田 白羊  | みのり     |                     | 水彩・紙         |         |
| 森田 恒友  | 田園風景    | 1906 (明治 39) 頃      | 水彩・紙         |         |
| 望月 省三  | 潮干狩     |                     | 水彩・紙         |         |
| 小出 樞重  | 自画像     | 1918 (大正 7)         | 油彩・キャンバス     |         |
| 片多 徳郎  | 残雪の庭    | 1925 (大正 14)        | 油彩・キャンバス     |         |
| 里見 勝蔵  | 軍人      | 1927 (昭和 2)         | 油彩・キャンバス     |         |
| 小山 敬三  | 裸婦立像    | 1920-22 (大正 9-11) 頃 | 油彩・キャンバス     |         |
| 小山 敬三  | 風景      | 1922 (大正 11)        | 油彩・キャンバス     |         |
| 木村 荘八  | 祖母の顔    | 1916 (大正 5)         | 油彩・板         |         |
| 木村 荘八  | 道のある風景  | 1914 (大正 3)         | 油彩・キャンバス     |         |
| 木村 荘八  | 暮るゝ堀    | 1926 (大正 15)        | 油彩・板         |         |
| 小川 千甕  | サン・ドニ風景 | 1913 (大正 2)         | 水彩・紙         |         |
| 常盤 大空  | 殷賦考     | 1962 (昭和 37)        | 岩絵具・キャンバス    |         |
| 常盤 大空  | 古代頌     | 1960 (昭和 35)        | 岩絵具・紙 (2点組)  | 常盤房子氏寄贈 |
| 梶田 半古  | 蝶       | 1907-1912 (明治 40 代) | 岩絵具・絹/二曲一隻屏風 |         |
| 須田 珙中  | 鷹の図     |                     | 岩絵具・紙/二曲一隻屏風 |         |
| 玉村 方久斗 | 松に鳩     | 1924 (大正 13)        | 岩絵具・紙/軸      |         |

### 展示室3 追悼 佐藤静司

昨年9月12日彫刻家・佐藤静司氏が106歳で逝去されました。1915(大正4)年5月4日郡山駅前に生まれ、県立安積中学校(現在の県立安積高校)在学中に彫刻家を志し上京。同郷の三木宗策(1891-1945)のもとで木彫を学び、戦後は澤田政廣(1894-1988)に師事。1936(昭和11)年第1回改組帝展に初入選以来、戦後も日展を中心に活躍し、審査員、評議員等を歴任。1997(平成9)年勲四等瑞宝章を受章。近年まで日展への出品を続け、戦後の福島県の彫刻界を先導しました。

当館では2007(平成19)年「佐藤静司彫刻展」を開催しました。会場で中学生の質問に気さくに応じるなど優しい人柄を偲び、ご冥福をお祈りするとともに、代表作をご紹介します。

| 作者名           | 作品名     | 制作年          | 技法・材質 |         |
|---------------|---------|--------------|-------|---------|
| 佐藤 静司         | 早春      | 1940 (昭和 15) | 木彫    | 寄託作品    |
| 佐藤 静司         | 獺       | 1936 (昭和 11) | 木彫    |         |
| 佐藤 静司         | やすを持つ少年 | 1966 (昭和 41) | 木彫、鉄  |         |
| 佐藤 静司         | 風紋      | 1976 (昭和 51) | 木彫    |         |
| 佐藤 静司         | 合掌      | 1986 (昭和 61) | 木彫    |         |
| 佐藤 静司         | 閑       | 1986 (昭和 61) | 木彫    | 佐藤静司氏寄贈 |
| 佐藤 静司         | 求道      | 1995 (平成 7)  | 木彫    | 佐藤静司氏寄贈 |
| 佐藤 静司         | フルーティスト | 2000 (平成 12) | 木彫    | 佐藤静司氏寄贈 |
| 佐藤 静司         | せせらぎ    | 2003 (平成 15) | 木彫    | 佐藤静司氏寄贈 |
| 佐藤 静司         | 街の詩     | 2006 (平成 18) | 木彫    | 佐藤静司氏寄贈 |
| <b>【特別出品】</b> |         |              |       |         |
| 佐藤 静司         | 遙か      | 1989 (平成元)   | ブロンズ  | 宇野洋子氏蔵  |

## 展示室4-① 画家と日本版画

浮世絵の伝統を引き継いだ日本版画は、明治後半以降、創作版画や新版画といった芸術運動がおこり、版画芸術の新たな可能性が模索されました。そして、浮世絵師で日本画家でもあった水野年方や、その弟子、鐫木清方のように、多くの画家は、本の口絵や挿絵など版画の仕事にも取り組んでいます。

その清方らと日本画の研究団体「金鈴社」を結成した平福百穂や、日本美術院同人となった、彫刻家で洋画家の石井鶴三は、『日本風景版画』に作品を残しました。鶴三は、『HANGA』『版芸術』にも作品を寄せています。そして、おなじく『HANGA』『版芸術』に作品を寄せた平塚運一は、院展洋画部に油彩画、水彩画を出品しています。

ここでは、日本画家や日本美術院にかかわりのある作家を軸に、版画作品との関係を探ってみたいと思います。

| 作者名             | 作品名   | 制作年                  | 技法・材質         |
|-----------------|---|----------------------|---------------|
| 水野 年方 (画)       | 『日の出島 富士の巻』口絵                               | 1897 (明治 30)         | 木版/本          |
| 鐫木 清方 (装丁)      | 『日の出島 朝日の巻』(村井弦斎著)表紙                        | 1902 (明治 35)         | 木版/本          |
| 楊州 周延           | 『江戸錦』より「ふじ」「たなばた」「きん魚」                      | 1898 (明治 31)         | 木版・紙 亀井よし子氏寄贈 |
| 宮川 春汀           | 『美人十二カ月』より<br>「其二 観梅」「其三 桜がり」「其四 牡丹」「其五 藤見」 | 1898 (明治 31)         | 木版・紙 亀井よし子氏寄贈 |
| 山本 昇雲           | 『いま姿』より「ゆり園」「おどろき」「おおこわ」「花かげ」               | 1906-1909 (明治 39-42) | 木版・紙 亀井よし子氏寄贈 |
| 前川 千帆           | 『書窓版画帖十連聚其四 新野外小品』より                        | 1941 (昭和 16)         | 木版/本          |
| 平塚 運一           | 『書窓版画帖十連聚其九 伊豆一周画詞』より                       | 1943 (昭和 18)         | 木版/本          |
| 平塚 運一           | 『HANGA』第一輯より「夜の女」                           | 1924 (大正 13)         | 木版/ポートフォリオ    |
| 石井 鶴三           | 『HANGA』第二輯より「裸婦浴後」                          | 1924 (大正 13)         | 木版/ポートフォリオ    |
| 平塚 運一           | 『HANGA』第三輯より「北海道の或る海岸」                      | 1924 (大正 13)         | 木版/ポートフォリオ    |
| 平塚 運一           | 『HANGA』第五輯より「松江郊外」                          | 1924 (大正 13)         | 木版/ポートフォリオ    |
| 平塚 運一           | 『HANGA』第六輯より「駒沢村風景」                         | 1925 (大正 14)         | 木版/ポートフォリオ    |
| 平塚 運一           | 『HANGA』第七輯より「カーネーション」                       | 1925 (大正 14)         | 木版/ポートフォリオ    |
| 平塚 運一           | 『HANGA』第八輯より「南天樹」                           | 1925 (大正 14)         | 木版/ポートフォリオ    |
| 平塚 運一           | 『HANGA』第九輯より「兵営付近」                          | 1926 (大正 15)         | 木版/ポートフォリオ    |
| 石井 鶴三           | 『HANGA』第十二輯より「犬」(表紙)                        | 1927 (昭和 2)          | 木版/ポートフォリオ    |
| 大内 青圃           | 『版芸術』第一号より「少女」(表紙)                          | 1932 (昭和 7)          | 木版/本          |
| 大内 青圃           | 『版芸術』第三号より「除草」(表紙)                          | 1932 (昭和 7)          | 木版/本          |
| 大内 青圃           | 『版芸術』第四号より「向日葵」(表紙)                         | 1932 (昭和 7)          | 木版/本          |
| 前川 千帆           | 『版芸術』第五号より「赤城山上」                            | 1932 (昭和 7)          | 木版/本          |
| 平福 百穂           | 『日本風景版画』第三集より「松島」                           | 1917 (大正 6)          | 木版/ポートフォリオ    |
| 小杉 未醒           | 『日本風景版画』第七集より「首里古城」                         | 1917 (大正 6)          | 木版/ポートフォリオ    |
| 石井 鶴三           | 『日本風景版画』第九集より「中川」                           | 1917 (大正 6)          | 木版/ポートフォリオ    |
| 石井 鶴三           | 『日本風景版画』第九集より「板橋」                           | 1917 (大正 6)          | 木版/ポートフォリオ    |
| 石井 鶴三           | 『日本風景版画』第十集より「槍ヶ岳」                          | 1917 (大正 6)          | 木版/ポートフォリオ    |
| 久保田 米遷          | 『国民新聞』第 196 号附録より「宇治拾遺物語」                   | 1890 (明治 23)         | 石版・紙          |
| [資料] 鐫木 清方 (画)  | 『月魄 藤乃の巻』(菊池幽芳著)口絵                          | 1908 (明治 41)         | 木版/本 山田俊幸氏寄贈  |
| [資料] 鐫木 清方 (画)  | 『月魄 倭文子の巻』(菊池幽芳著)口絵                         | 1908 (明治 41)         | 木版/本 山田俊幸氏寄贈  |
| [資料] 鐫木 清方 (装丁) | 『円朝全集』第 6 巻より                               | 1927 (昭和 2)          | 木版/本 山田俊幸氏寄贈  |
| [資料] 安田 鞞彦 (装丁) | 『川端康成全集』第 1 巻より                             | 1948 (昭和 23)         | 木版/本 山田俊幸氏寄贈  |
| [資料] 安田 鞞彦 (装丁) | 『川端康成全集』第 5 巻より                             | 1949 (昭和 24)         | 木版/本 山田俊幸氏寄贈  |
| [資料] 安田 鞞彦 (装丁) | 『川端康成全集』第 15 巻より                            | 1953 (昭和 28)         | 木版/本 山田俊幸氏寄贈  |

## 展示室4-② うつわ越しの世界

暮らしのなかで、私たちは知らず知らずのうちに器を「選んで」使っています。質感や重さ、大きさ、色など器には性質があり、それが中身や他の器、季節、そして場と相性がよいかを考えているものです。これは日本で伝統的に行われてきたことでもあります。たとえば茶道では、道具の取合わせに趣向を凝らし、花見の茶会には桜の意匠の茶道具など、季節やテーマに沿った道具類を使用し、床の間の掛物などを選びます。また、千利休は、日常の生活用品であった魚籠や瓢箪を花入に見立てて茶道具に取り入れました。

今回は、器の用い方のひとつの案として絵画を展示します。その組み合わせは器の性質に合っているでしょうか。それとも、あなたなら別のものと組み合わせますか。

| 作者名                | 作品名                           | 制作年                  | 技法・材質                      |
|--------------------|-------------------------------|----------------------|----------------------------|
| ベン・ニコルソン           | 水差しと楕円形                       | 1973                 | オイルウォッシュ、鉛筆・紙、木製ボード        |
| サー・エドワード・コラー・パーソンズ | 『フラワーブック』より「蛇の舌」              | 1905                 | リトグラフ・紙                    |
| オーブリー・ピアズリー        | 「セット・オブ・オッド・ヴォリュームズ」喫煙招待状デザイン | 1895                 | ラインブロック・紙                  |
| スタンリー・ウィリアム・ヘイター   | 舟について                         | 1957                 | エングレーヴィング・紙                |
| ロバート・ギビングス         | チューリップ                        | 1922                 | 木口木版・紙                     |
| クリストファー・ドレッサー      | 六角型薬味入れセット                    |                      | ガラス、金属、電気メッキ               |
| クリストファー・ドレッサー      | 水差し「ラクダの背」                    | 1879-82 頃            | 陶器                         |
| クリストファー・ドレッサー      | 青緑釉水差                         | 1879-82 頃            | 陶器                         |
| クリストファー・ドレッサー      | 緑釉刻文花瓶                        | 1879-82 頃            | 陶器                         |
| クリストファー・ドレッサー      | 刻文舟形容器                        | 1892-95 頃            | 陶器                         |
| バーナード・リーチ          | 白磁魚絵皿                         | 1961                 | 磁器                         |
| 原 撫松               | 桔梗                            |                      | 水彩、鉛筆・紙                    |
| 原 撫松               | 木春菊                           |                      | 水彩、鉛筆・紙                    |
| 安井 曾太郎             | 『安井曾太郎版画集』(石原求龍堂)より「魚とさざえ」    | 1933 (昭和 8)          | 木版・紙                       |
| 岩谷 徹               | 赤い魚 (大)                       | 1976 (昭和 51)         | メゾチント・紙                    |
| 岸田 劉生              | 丹絵ごのみ・麗子                      |                      | 木版・紙 (株)寿ビル寄贈              |
| 佐藤 潤四郎             | オブジェ・魚拓                       | 1972 (昭和 47) 頃       | ガラス/宙吹                     |
| 佐藤 潤四郎             | 花器・アダムとイヴ                     |                      | ガラス/宙吹・サンドブラスト             |
| 佐藤 潤四郎             | オブジェ・魚拓                       | 1972 (昭和 47) 頃       | ガラス/宙吹・カレット封入              |
| 佐藤 潤四郎             | 置物・花                          | 1954 (昭和 29) 頃       | ガラス/サンドブラスト                |
| 佐藤 潤四郎             | 灰皿                            |                      | ガラス/型押し                    |
| 佐藤 潤四郎             | 竹に雀文ワイングラス                    |                      | ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈 |
| 佐藤 潤四郎             | 葡萄文ワイングラス                     |                      | ガラス/宙吹・グラヴェール 佐藤久枝氏寄贈      |
| 佐藤 潤四郎             | 魚 (オレンジ)                      | 1973-76 (昭和 48-51) 頃 | ガラス/宙吹・カレット封入              |
| 佐藤 潤四郎             | 魚 (ブルー)                       | 1973-76 (昭和 48-51) 頃 | ガラス/宙吹・カレット封入              |
| 佐藤 潤四郎             | 奈良・薬師寺西塔舍利器 (試作)              | 1978 (昭和 53)         | ガラス/宙吹・グラヴェール              |

## ロビー展示 彫刻・他

| 作者名           | 作品名       | 制作年          | 技法・材質         |
|---------------|-----------|--------------|---------------|
| ●1階           |           |              |               |
| アントニー・ゴームリー   | 領域 XIII   | 2000         | ステンレス・スチール棒   |
| アントニー・ゴームリー   | 量子雲 XXIII | 2000         | ステンレス・スチール棒   |
| 笠置 季男         | 躍進        | 1958 (昭和 33) | セメント          |
| ●2階展示ロビー      |           |              |               |
| アリスティード・マイヨール | もの思い      | 1930         | ブロンズ 大高善二郎氏寄贈 |
| 北村 四海         | 井冰鹿の娘     | 1917 (大正 6)  | 大理石           |
| 佐藤 忠良         | 群馬の人      | 1952 (昭和 27) | ブロンズ          |
| 堀内 正和         | 顔         | 1955 (昭和 30) | 鉄、セメント        |
| ●前庭           |           |              |               |
| バリー・フラナガン     | 野兎と鐘      | 1988         | ブロンズ          |